

平成30年6月1日

登米市議会議長 及川 昌憲 殿

新・立志の会

代表 岩淵 正宏



調査報告書

調査の概要は次の通りであります。

記

1. 調査目的 いま、本市で抱える課題について、行政視察をおこない本市の事業執行に寄与するため。
2. 調査先 千葉県香取市「歴史的建造物群による町並み保存」
茨城県行方市「学校統合とその後の廃校舎利用」
3. 調査期間 平成30年5月21日から平成30年5月22日（2日間）
4. 調査の経過と結果並びに所感 別紙の通り。
5. 添付書類 調査地毎報告書、調査経費内訳書、領収書（写し）
6. 調査者指名 岩淵 正宏 八木 しみ子 関 孝
佐々木 好博 岩淵 正弘 上野 晃

千葉県香取市（佐原）視察研修報告

視察日：平成 30 年 5 月 21 日（月）

報告者：新・立志の会 佐々木 好博

■視察研修目的

登米市の観光拠点である「宮城の明治村・登米町」の観光や、街並み形成と保存の取組促進を図るために、伝統的歴史建造群のある千葉県香取市の佐原の事例を参考とするため。

■佐原歴史的建築保存群

佐原は江戸時代、海からの物資を荷揚げし、江戸へ運ぶ重要拠点として発達した。物資の運搬には水路が活用されたため、水路を挟んで両側に街並みが形成され、現代でもその貴重な形態と当時の建物群が残されている。

このことから関東で初の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定をされている。

■地域の意識

実は地元の佐原に住む人々は、この歴史的に貴重な建物や地域特性についてあまり関心を寄せていなかった。

事実これまで行政からの保存指定などの協力要請には消極的だったが、民間による水路の清掃を機に佐原の歴史的景観を保存しようという流れになっていった。

■街並み保存の取組

水路清掃から波及した住民意識の高まりにより NPO 法人「小野川と佐原の町並みを考える会」（理事長 佐藤健太良 氏）が立ち上がった。

この NPO が中心となり建物の状況調査などを実施、住民たちが自ら街並みと景観を守るための具体的な内容を検討計画し、市に要請を行ってきた。

■行政との連携

NPO 法人による要請により、市は具体的な予算、方法、保存すべき規制範囲の決定など基本計画としてまとめ、予算化をし、実施してきている。

■街並み形成実施内容

保存という住民意識の不足から街並みは虫食い状態で、全体の景観が損なわれ始めていた。これを全体の景観として改善、改良するために指定範囲内の建物を改修する場合には、通りに面する屋根や外壁の改修費用の一部助成として最大 700 万円を支給している。年間申請 3 棟までとし、計画的にその改修に当たっている。

■観光の発展

佐原には元々大きな祭りがあり、日本三大囃子といわれる「佐原囃子」があり、それを支える観光物産協会「水郷佐原観光協会」を始めとする多くの団体が存在している。

佐原の伝統的歴史建築群保存への取組と住民意識の高まりが祭りを支える多くの団体などの連携強化を一層進めてきている。

■視察を終えて

佐原という地域特性を持った地域住民に自分たちの地域への関心が薄かったという所は驚きであった。これまでの様々な時代背景的な部分もあるのだろうが、歴史的な遺構は持ち主だけでなく、全人類の財産でもある。その意識を高め、住民が自らその価値を復活させ、そして創造してきた努力には敬意を表する。

そして思うのは、やはり、他人任せという事ではなく、地域の住民自らがその意識を持ち、取り組んでいくという姿勢が行政をも動かし、町や地域が形成されて行くのだと感じた。

私たち登米市の明治村に必要な取り組みや意識が佐原には存在していると思うと同時に、私たちに足りない部分がある何かを考えさせられる研修であった。

結びに、今回お世話になり、丁寧に対応していただいた水郷佐原観光協会事務局長 益子洋一郎 氏と NPO 法人小野川と佐原の町並みを考える会の理事長 佐藤健太良 氏に感謝を申し上げ、視察報告とする。

以上



新・立志の会 視察調査研修レポート（学校統合と廃校利用について）

視察年月日：平成 30 年 5 月 22 日（火）

調査項目：「学校統合とその後の廃校利用について」現地視察

行方市及びなめがたファーマーズ・ヴィレッジの概要

霞ヶ浦と北浦に囲まれ、自然豊かな行方市は、本市と時を同じく、いわゆる平成の大合併時に、3つの自治体が合併する事により誕生した市である。

行方市は人口約3万5千人、世帯数約1万2,700、面積約222k㎡（平成30年5月1日現在）の市であり、都心から約70kmという好立地にある。

しかしながら、行方市においても人口減少に直面しており、児童・生徒の減少から、学校統合を進めた結果として、小学校が18校から4校に、中学校が4校から3校に編成されている。

当初は地域の住民からは、自分の卒業した学校が無くなるのは寂しいといった理由等から、反対意見も多かったそうであるが、合併特例債は子供たちの為に使う、また、子供たちの安全を第一に優先するという考えから、最終的には統合への理解が得られたとの事である。

現在、行方市では45台のスクールバスが運行しており、運営費として、年間約3億円がかかるものの、子供たちには安全・安心な通学手段が確保されている。

次に学校跡地の利用について、行方市の成功事例の一つが「なめがたファーマーズ・ヴィレッジ」である。

市としては、元々学校跡地は企業が利用してほしいという思いがあったそうであるが、企業に来てもらう為の努力として、主力農産品であるサツマイモのブームを仕掛けたり、学校跡地を安価に提供する等の試みの結果、誘致企業は工場団地ではなく、学校跡地の方に興味を持ったとの事である。

事業成果としては、新規雇用者200人のうち150人は地元雇用し、不法投棄が減る事で環境が大幅に改善される、交流人口が増える、地域住民からは、昔の学校の面影があるとの評価を受ける等、多くの成果が現れている。

調査の概要

行方市の担当者様の説明の後、実際になめがたファーマーズ・ヴィレッジを現地視察し、担当者様の説明を交えながら、施設を見学・体験した。

所見

本市においても、本年度中にはついに人口 7 万人台に突入し、人口減少はますます進行するものとする。

人口減少に伴い、児童・生徒の数も減少する事から、本市においても、学校統合の議論は避けて通れないものとなっている。ここで仮に学校統合が必要となった場合において、母校を心の拠り所とする市民への配慮は欠かせない。

そこで、行方市の例のように、統合消滅学校が昔の面影を残したままに、未来に向かって有効活用される事は、かかる学校を大事に思う市民の意思に合致するものとする。

よって、学校統合は、廃校舎の有効利用と一体のものとして論ずる事が理想的であると考える。

本市においては、昨年は全国和牛能力共進会において優秀な成績を残している事から、かかる畜産等の農業と企業がマッチングできる下地作りに努め、行方市の例のように、企業による廃校舎の有効利用を図る事も、本市の教育環境及び産業の前進に繋がるものとする。

議会としては、市民との対話により、建設的に市民の心の拠り所を見極め、今後の学校のあり方を適正に審議していく事が求められているものとする事から、今回の視察の成果を整理し、かかる市民との対話や学校のあり方に関する審議等に役立てるものである。

なめがたファーマーズ・ヴィレッジについて

茨城県行方市



茨城県行方（なめがた）市

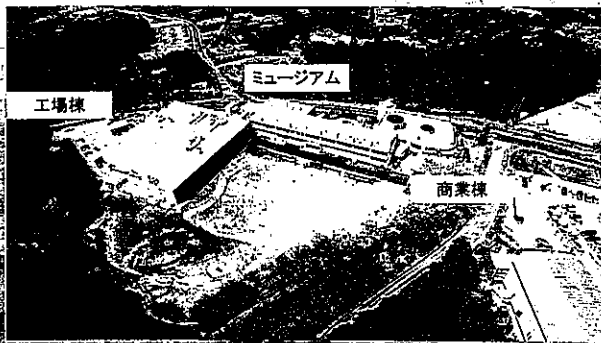
□人口 35,341人 (平成30年5月1日現在)

□世帯数 12,786世帯

□面積 222.48km²(うち陸地166.33km²)

茨城県の南東部、都心から約70km
霞ヶ浦・北浦(日本第2位)に面した湖岸線は約50km
湖岸部は低地、内陸部は標高30mの丘陵(行方台地)
一部は、水郷筑波国定公園に指定、美しい景観が自慢

なめがたファーマーズ・ヴィレッジ



施設開場までの経過2

■茨城県の支援と法人設立、補助金交付

・平成24年5月、JAの要請を受け6次産業関係の補助事業導入のために茨城県がプロジェクトチームを発足。

・平成24年12月、地元農業者、JAなめがた、(株)しろはとファームの出資による農業生産法人「(株)なめがたしろはとファーム」を設立。

・平成25年10月、農林水産大臣から総合化事業計画の認定を受ける。

・平成26年3月、農山漁村6次産業化対策事業助成金交付決定。(498百万円)



食材の宝庫 なめがた

霞ヶ浦と北浦に囲まれ肥沃な台地で生産される、「60品目」を超える農産物と水産、畜産物。関東地方の食材を担い、さらに日本各地へ。

■主な農水畜産物

◆ブランド指定の農産物(茨城県銘産地)

◎サツマイモ ◎エシャレット ◎いちご ◎みず菜
◎わさび菜 ◎せり ◎しゅんぎく ◎香菜

◆ブランド化された畜産物

◎豚肉「美明豚」、「ローズポーク」
◎牛肉「常陸牛」

◆豊富な水産物

◎鯉(コイ) ◎ワカサギ ◎シラカバ ◎アサギカエビ

施設開場までの経過1

■きっかけ

・平成17年から白ハトグループの「おもい株オーナー制度」の農園に行方市の農園(協働契約農園)が加わる。

・平成20年、JAなめがたの継続(取引)契約を締結した際に、産地である行方市に工場の誘致をしたことがきっかけとなる。

・市では、学校の統廃合を進めており、平成28年に、中学校4校⇒3校、小学校18校⇒4校へ統廃合を完了しました。

跡地の有効活用は大きな課題です。

施設開場までの経過3

■市役所、市議会の対応

・事業説明会の開催

平成24年6月以降、市議会及び地元説明会を数回開催。

・市議会での議案可決

平成26年1月臨時会にて財産譲渡の議案が可決。
(土地約2.1ha、校舎約1,700m²、体育館その他)

■工事からオープン

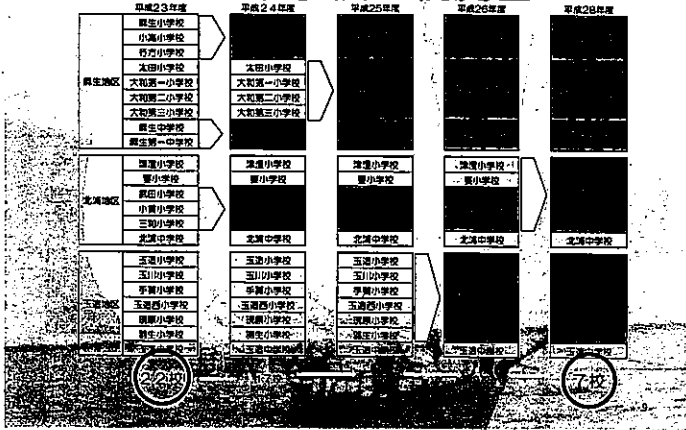
・平成26年2月:体育館、水泳プール解体工事着手

・平成26年12月:施設建設工事に着手

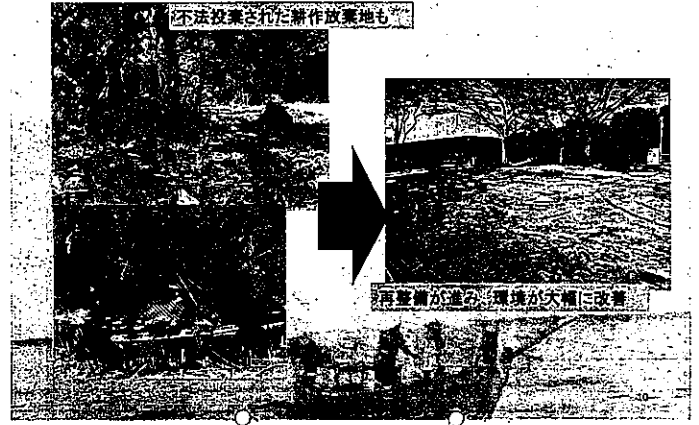
(工場棟、ミュージアム(校舎改修)、商業棟、貸農園(その他))

平成27年10月30日にグランドオープン

小・中学校の統廃合



事業成果 その1



事業成果 その2

- ・東京ソラマチ及び市内で「サツマイモオーナー制度」(情報発信)
- ・年間23万人超の来場者で、新たな交流人口、経済効果
「はとバス」始めツアー客も増加
- ・人気の商業棟は、イタリアンレストラン、マルシェ、らぽぽまで連日にぎわう
- ・ミュージアム棟は、サツマイモの歴史や効能のPR、教室の再利用で学校の面影を残す(「地元の思い」へ対応)
- ・新規雇用者200人うち150人を地元雇用。市内移住者も

事業成果 その3 -1

茨城県初の農業賞大賞を「さつまいも」で受賞

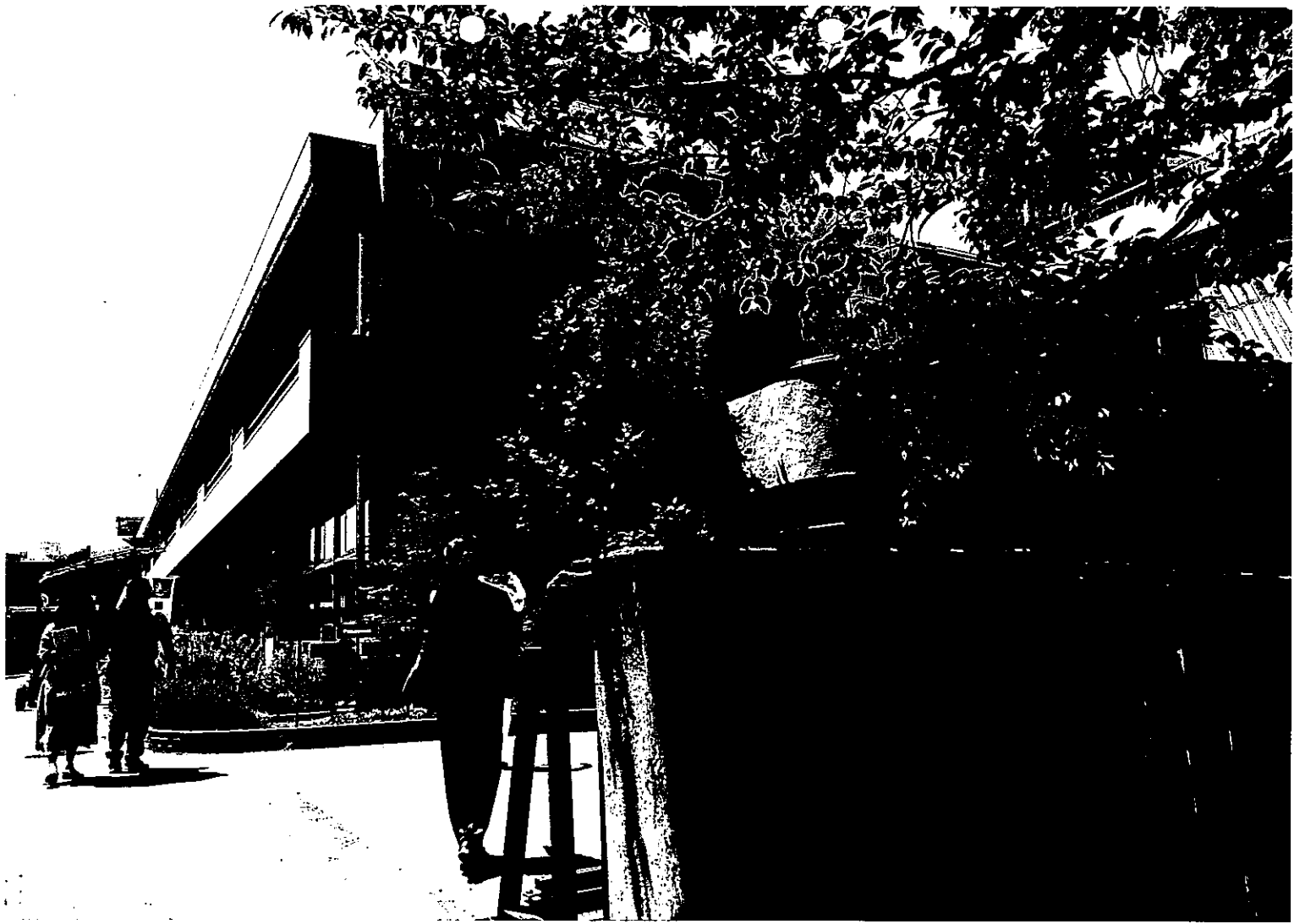


事業成果 その3 -2

第56回農林水産祭天皇杯を「JA甘藷部会」が受賞

「焼き芋日本一」目指して!

- ・JAなめがたは、「かんしょ」の販売低迷を打開するため「焼き芋戦略」に取り組み、市場拡大を図った。
- ・この戦略の特色は、
 - ①仲卸売業者、小売店と協力してスーパーでの実演販売。貯蔵技術、新たな品種開発など。
 - ②「なめがたファーマーズヴィレッジ」での事業展開。
- ・今後は、カナダ・東南アジアへの輸出や国内の販路拡大を。



平成31年 3月29日

登米市議会議長

及川 昌憲 殿

会派名 新・立志の会

代表 岩淵 正宏



調 査 報 告 書

調査の概要は次のとおりであります。

記

1. 調査目的 日向市（木材100%利用の国内最大級の複合工場の調査）
日南市（再生とは違う商店街改革について）
いま、本市で抱える課題について、行政視察をおこない
本市の事業執行に寄与するため
2. 調査先 宮崎県日向市（日本の木材産業最先端の取組について）
宮崎県日南市（官民二人三脚の取組について）
3. 調査期間 平成31年 3月18日（月）～3月20日（水）
4. 調査の経過と結果並びに所感 別紙の通り
5. 添付書類 調査地毎報告書、調査経費内訳書、視察資料の写し
6. 調査者氏名 岩淵 正宏、 八木 しみ子 日下 俊
関 孝 佐々 木好博 岩淵 正弘

新・立志の会視察研修

平成31年3月18日～20日

○ 宮崎県日向市

日本の木材産業最先端の取り組みと
その将来性

○ 宮崎県日南市

再生とは違う商店街改革
官民二人三脚の取り組み

研修視察報告書

視察地：宮崎県日向市中国木材（株）

〔日本の木材産業最先端の取組みとその将来性〕

視察日：平成31年3月18日（月）

視察内容：日本の木材産業は「南から変わっていく」と言われている。宮崎県の流れはやがて本州全土に波及していく。その宮崎で今何が起きているのか？新たな森林管理システムが今年4月からスタートするこの時期だからこそ、これからの林業と木材産業の方向性を見極める研修とする。

視察者：岩淵正宏、八木しみ子、日下俊、岩淵正弘、佐々木好博、關孝

概要：国内では戦後、大量に植林された杉が伐期年齢に達している。近年、日本は木材の多くを輸入に頼っており、国産杉は使用用途が少ないこともあって林業の採算は厳しいのが現状である。

中国木材では、必ず国産杉が見直される時代が来ると考え、スギとベイマツによる異樹種集成材やムク・ボードと開発している。これらの製品は、今まで利用できないと山に放置されていた曲り材や欠点材、さらに間伐材までを積極的に活用している。

製材の過程で剥がした原木の樹皮や端材はバイオマス燃料として大型自家発電ボイラーに投入し、木材乾燥に必要な蒸気と電気エネルギーに変換し、18,000kwの発電を行っている。木材製品を製造する過程の副産物でグリーンエネルギーを生成し、そのエネルギーで木材製品をつくる。木を余すところなく活用し、環境に負荷を与えない生産システムとなっている。

所見：日向市は平成25年6月に中国木材（株）と調印し、企業誘致していた。さらに28年度には増設し、現在では300人の社員を雇用していた。

《日向市企業立地促進条例 奨励措置は資料1》

工場内はオートメーション化されており、若い従業員が目についた。（平均年齢37歳）若者が働きやすい環境づくりに考慮されている点に感心させられた。

原木購入については宮崎県森連が全て担い、価格も一般より割高で買い取りしていた。購入先を一か所にすることで有利販売につながっていた。わが市では、市内に3か所の森林組合があり、このままでいいのか、合併して規模拡大・有利販売を目指すべきなのか岐路にあると感じた。（市からの機械導入補助金な

どの財政支援も抑制できるのではないだろうか)

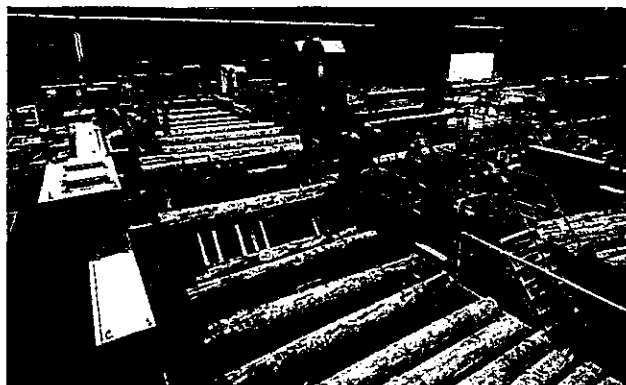
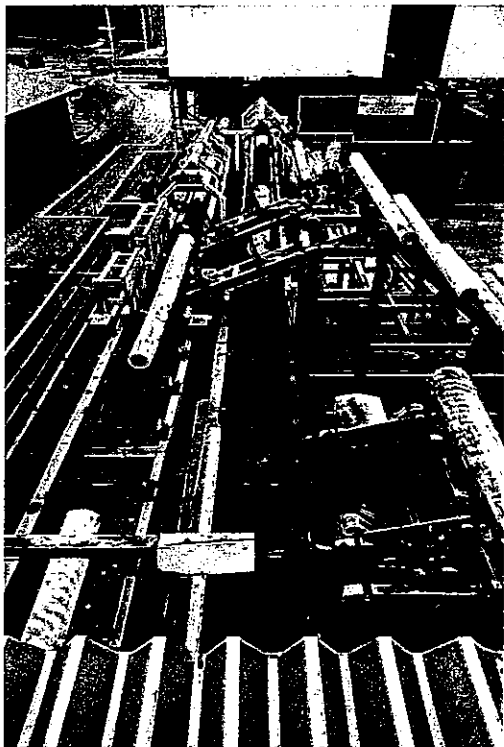
本市においても森林施業計画を再構築し、先人が残した「木」という財産を、どのように活かすか、どのように守るか、どのように引き継ぐか、今、決断の時ではないだろうか。

今回の視察を通し、まったく無駄のない「木」の活用法が出来ることを学んだ。宮城県に市域を超えた森林行政の検討や「木」の有効活用に向けた施策を促すことも必要ではないだろうか。また、市においては、今、伐期年齢に達している原木の有利販売を第一に考えた「仕掛け」を打ち出す時ではないだろうか。

蛇足ではあるが3月24日に新庁舎オープニングセレモニーを控えていた日向市役所を見学した。木をふんだんに使用したつくりで、市有林を50パーセント以上、その他は県産材を使っていた。(合計327㎡)

本市においても木質化指針を打ち出しているが、ぜひ、登米産材にこだわりを持ち、推進していく必要があると感じた。

日向市中国木材株式会社視察



オートメーション化されている工場内

モニター画面で製材進行管理

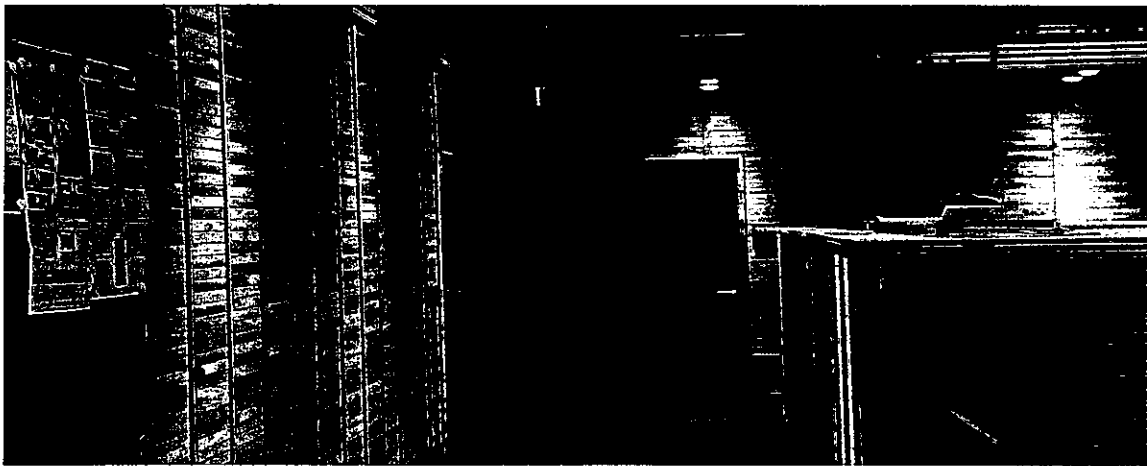


製材後の木材を乾燥棟へ運搬



バイオマス発電を利用した巨大な乾燥棟

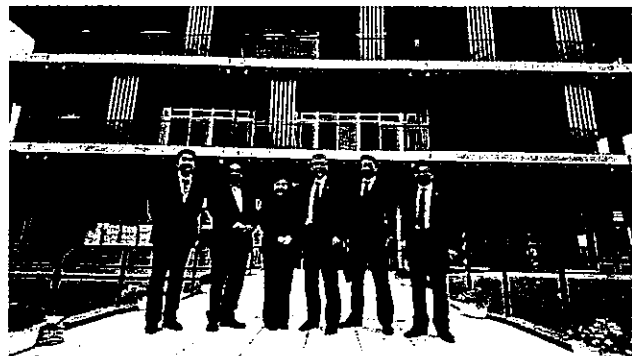
新築間もない日向市役所



外装も内装も市内産材がふんだんに使用されていた



議場も床と窓以外はすべて木材製品



日向市企業立地促進条例 奨励措置

【奨励措置の内容】

平成 29 年 3 月改正

対 象 の 要 件		優 遇 措 置	
投下固定資産総額		固定資産税	奨励金及び補助金※()は限度額
1 工場の新設	5千万円以上 (2の地場企業につい ては3千万円以上)	3年間免除	a 雇用促進奨励金 1人あたり20万円(2,000万円)
2 工場の増設または移設			b 大規模雇用促進奨励金(操業開始後5年間で100名以上の新規雇用)50万円/人+投資額×20% (限度額aとの合計1億円)
3 試験研究施設、情報サービス施設			c 工場等用地取得助成金 1,000㎡以上の用地取得費の30%(限度額1億円)【1回限り】
4 流通関連施設			d 工場等関連施設整備助成金 1件200万円以上の施設の整備費の50%(2,000万円)【1施設限り】
5 観光施設			e 工場等用地賃借料助成金 賃借料の50%(1年につき500万円)【5年間助成】
			f 通信回線使用料助成金(情報サービスののみ) 専用通信回線等の年間使用料の80%(1年につき500万円)【3年間助成】
			g 通信回線設置費助成金(情報サービスののみ)専用通信回線等の設置に係る費用(10万円)【1回限り】
			h 施設整備費助成金(情報サービスののみ)改装費等の2/3(限度額5万円/㎡、3,000万円)【1回限り】
			i 工場・オフィス賃借料助成金(工場、試験研究施設・情報サービスののみ) 工場・オフィス賃借料の50%(1年につき1,000万円)【5年間】

【奨励措置の特例】

対 象 の 要 件		優 遇 措 置	
投下固定資産総額	新規従業員数	固定資産税	奨励金()は限度額
投下固定資産総額のみが要件を満たす場合			
1 工場の新設	5千万円以上	10人未満	3年間免除 対 象 外
2 工場の増設または移設	5千万円以上 (地場企業:3千万円以上)	5人未満	
3 試験研究施設、 情報サービス施設	5千万円以上	5人未満	
4 流通関連施設	5千万円以上	15人未満	
5 観光施設	5千万円以上	10人未満	
新規従業員数のみが要件を満たす場合			
1 工場の新設	5千万円未満	10人以上	対 象 外
2 工場の増設または移設	5千万円未満	5人以上 (地場企業:3人以上)	
3 試験研究施設	5千万円未満	5人以上	
4 流通関連施設	5千万円未満	15人以上	
5 観光施設	5千万円未満	10人以上	
6 情報サービス施設	5千万円未満	5人以上	a 雇用奨励金 1人あたり20万円(2,000万円) e 通信回線使用料助成金 専用通信回線等の年間使用料の80%(500万円) 【3年間助成】 f 通信回線設置費助成金 専用通信回線等の設置に係る費用(10万円)【1回 限り】 g 工場・オフィス賃借料助成金(試験研究施設除く) 工場・オフィス賃借料の50%(1年につき1,000 万円)【5年間】

日向市における企業誘致実績一覧【平成17年度以降】

誘致総数		企業内訳		設備投資額	新規雇用者数
58件		製造業	48件	100,376,607千円	1,539人
		流通関連施設	4件		
		観光施設	2件		
		情報サービス	4件		

○平成17年度(2005)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	㈱ヨシミ	増設	H17.4.8		人
2	甲東機工㈱	新設	H17.5.27		人
3	富士シリシア化学㈱	増設	H17.6.7		人
4	倉本鐵工㈱	新設	H17.11.16		人
5	㈱木田工業	移設	H18.1.26		人
6	㈱黒田工業	新設	H18.3.29		人
合 計				3,654,000千円	107人

○平成18年度(2006)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	南嶺山精工	新設	H18.7.10		人
2	㈱岸上冷蔵	増設	H18.8.4		人
3	東郷メテイクット㈱日向工場	増設	H18.8.23		人
4	東郷メテイクット㈱新東郷工場	新設	H18.9.21		人
合 計				4,769,620千円	116人

○平成19年度(2007)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	㈱エム・テック	新設	H19.11.19		人
2	㈱さくら産業	新設	H16.9.3		人
3	㈱六三商行	増設	H20.3.7		人
合 計				697,690千円	77人

○平成20年度(2008)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	旭化成ケミカルズ㈱ハイポア工場	新設	H20.9.30		人
2	㈱科学飼料研究所	増設	H21.1.8		人
3	(有)サンゲイ	新設	H21.2.17		人
合 計				7,110,000千円	40人

○平成21年度(2009)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	旭化成イーマテリアルズ㈱ハイポア工場	増設	無		人
2	株式会社黒田工業	新設	H22.1.12		人
3	(有)サンゲイ	増設	無		人
合 計				5,320,000千円	27人

○平成22年度(2010)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	旭化成イーマテリアルズ(㈱)は7日向工場3期	増設	H22.10.28		人
2	センコー㈱延岡支店	新設	H23.1.19		人
3	村角㈱	新設	H23.1.21		人
合 計				3,385,500千円	29人

○平成23年度(2011)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	日玉中華食品㈱	新設	H23.7.26		人
2	㈱東光	新設	H23.8.17		人
3	旭化成イーマテリアルズ(㈱)は7日向工場4期	増設	H23.10.18		人
4	東ソー日向㈱	増設	H24.2.16		人
合 計				10,034,800千円	62人

○平成24年度(2012)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	東郷メテイクット㈱東郷工場(羽坂)	増設	H24.9.6		人
2	㈱欧茶彩華	増設	H24.10.31		人
3	㈱科学飼料研究所	増設	H24.11.12		人
4	日玉中華食品㈱	増設	H25.03予定		人
合 計				1,716,000千円	75人

○平成25年度(2013)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	中国木材株式会社日向工場	新設	H25.6.6	35,000,000千円	260人
2	九州フレカット事業協同組合	増設	無し		人
3	宮崎県森林組合連合会	新設	無し		人
4	王子木材緑化株式会社	増設	無し		人
合 計				35,616,504千円	281人

○平成26年度(2014)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	㈱サンゲイ	増設	無し		人
2	旭化成エレクトロニクス㈱	増設	無し		人
3	富士シリシア化学㈱	増設	H26.8.12		人
4	㈱エミオテックロジ	増設	H26.12.18		人
5	㈱マルイチ	新設	H27.1.27		人
合 計				1,513,993千円	277人

○平成27年度(2015)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	エンサントレイズ㈱	新設	H27.10.21		人
2	旭化成イーマテリアルズ(株)	増設	無し		人
3	富士シリシア化学㈱	増設	無し		人
4	㈱ジュアルティ	新設	H28.1.4		人
5	ヒートスイミングクラブ	新設	H28.2.18		人
6	㈱日向キャストینگ	増設	無し		人
7	科学飼料研究所	増設	無し		人
合 計				5,449,500千円	159人

○平成28年度(2016)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	倉本鐵工㈱	増設	無し		人
2	中国木材株式会社日向工場	増設	H29.3.28	19,170,000千円	100人
3	㈱日向	移設	無し		人
合 計				19,879,000千円	118人

○平成29年度(2017)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	旭化成(株)日向化学工場	増設	無し		人
2	(株)クロスコーポレーション	増設	無し		人
3	(株)テネット	新設	H30.2.13		人
4	(株)ジュアルティ	増設	無し		人
5	(株)西原金属	増設	無し		人
合 計				430,000千円	143人

○平成30年度(2018)					
No	企業名	種別	調印日	設備投資額	新規雇用者数
1	台湾タンパオ株式会社	新設	無し		人
2	株式会社大鋳	増設	無し		人
3	南日本ハム株式会社	増設	無し		人
4	有限会社木村屋パン	移設	無し		人
合 計				800,000千円	28人

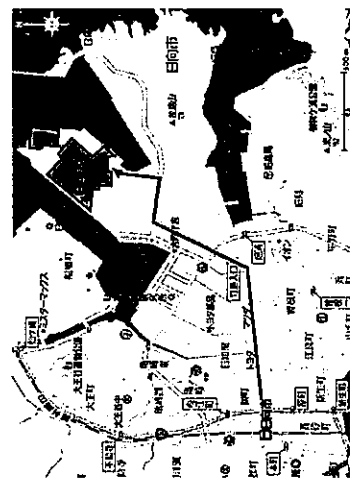
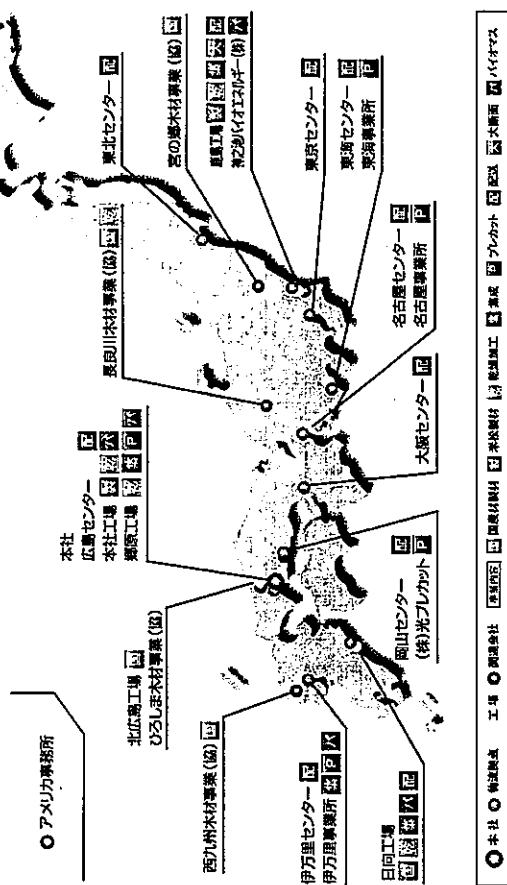


CHUGOKU LUMBER HIYUGA

建設進捗と今後の計画

2013年10月	建設開始	2015年7月	大径木製材工場稼働
2014年9月	未利用材工場稼働開始	2015年12月	第二製品棟完成
2014年10月	製材工場商業稼働開始	2016年4月	小断面集成材工場稼働予定
2014年12月	第一製品棟完成	2016年5月	大径木製材工場追加ライン稼働予定
2014年12月	乾燥加工工場商業稼働開始	2018年末	専用バス完成予定
2015年3月	バイオマス設備発電開始		

全国に広がる製販物流ネットワーク



中国木材株式会社 日向工場

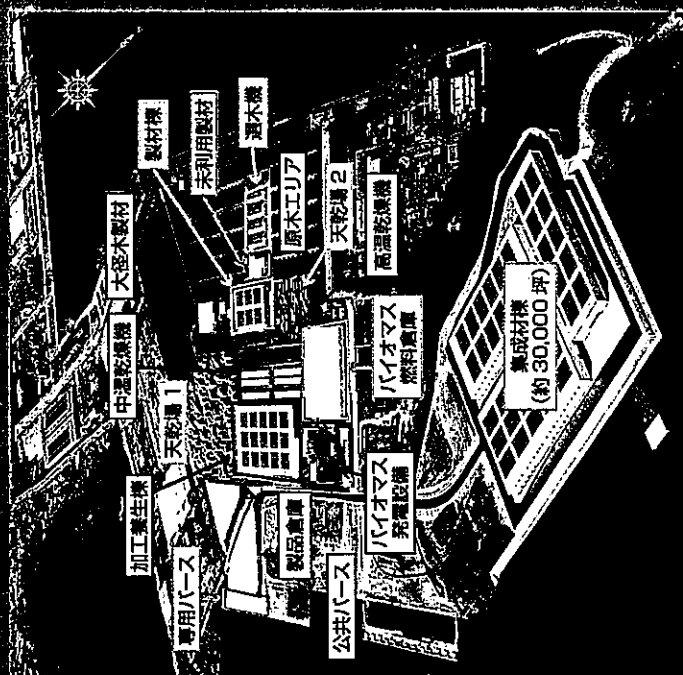
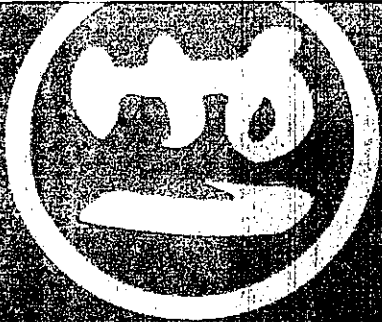
宮崎県日向市竹崎町 1-101 電話 (0982) 50-2882

中国木材株式会社

本社 / 広島県呉市広多賀谷 3丁目 1-1 西 0120-707-141 http://www.chugokumokuzai.co.jp

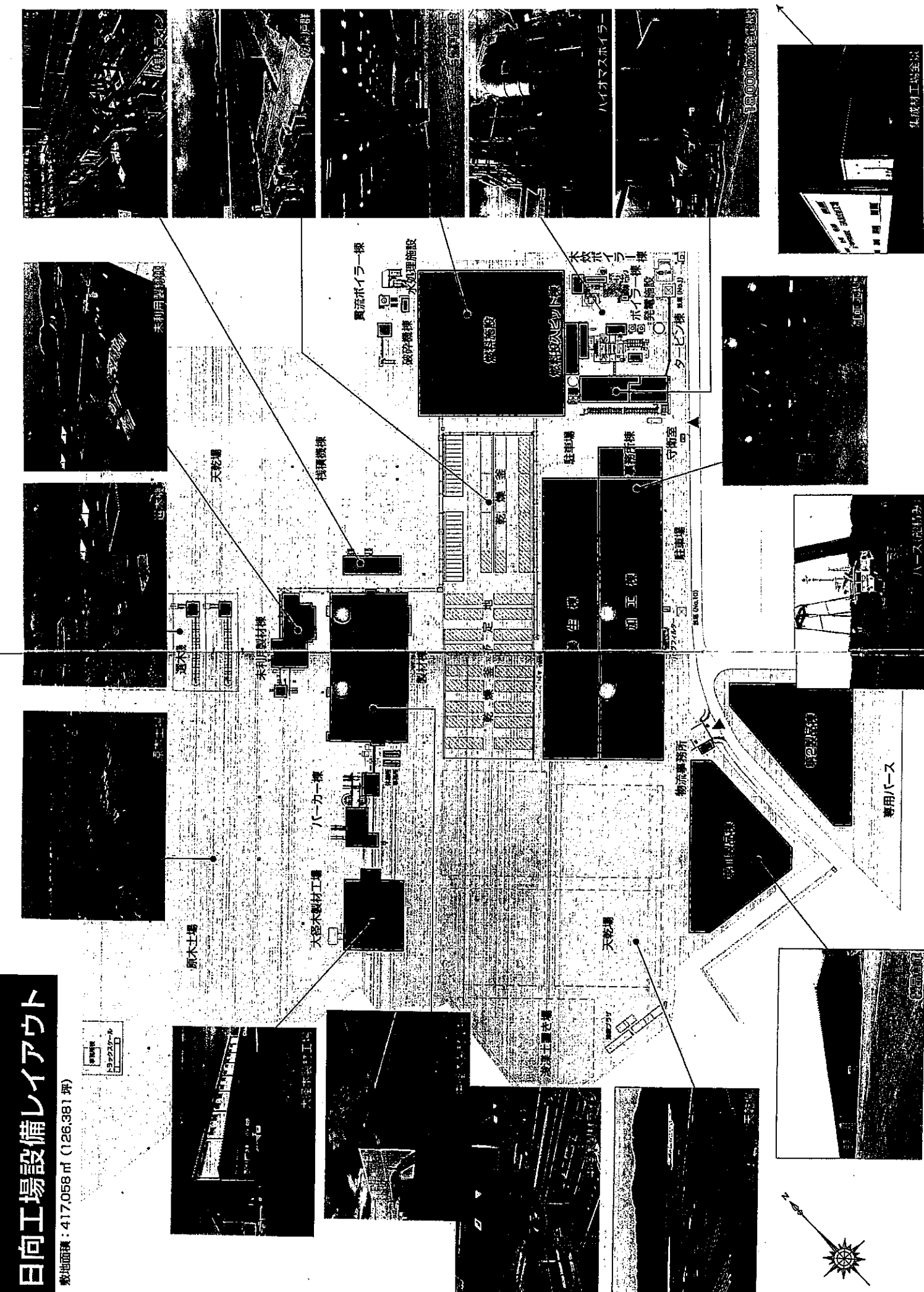
CHUGOKU LUMBER HIYUGA

中国木材株式会社 日向工場



日向工場設備レイアウト

敷地面積：417,056 m² (126,381 坪)



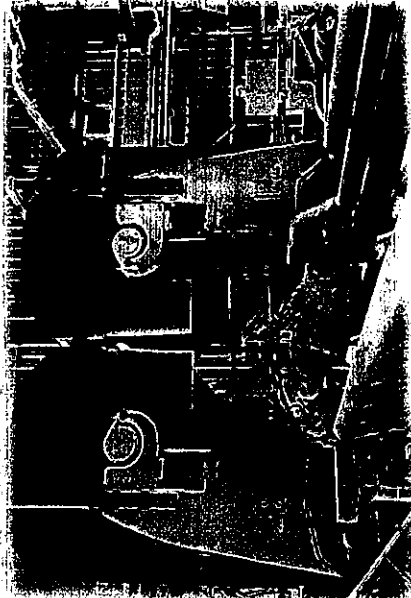
日向工場での業務



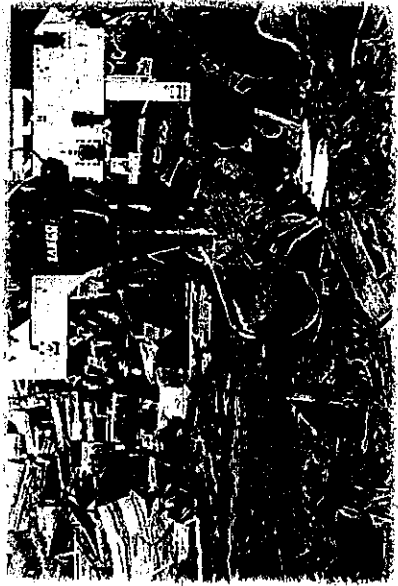
原水の受け入れ
(山から運ばれて来た原水をトラックから降ろします)



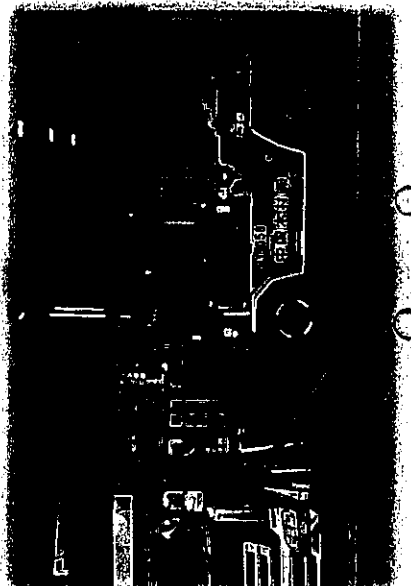
原水 ①：ローガー
(毎分ごとに運回された原水を製紙工場へ搬入します)



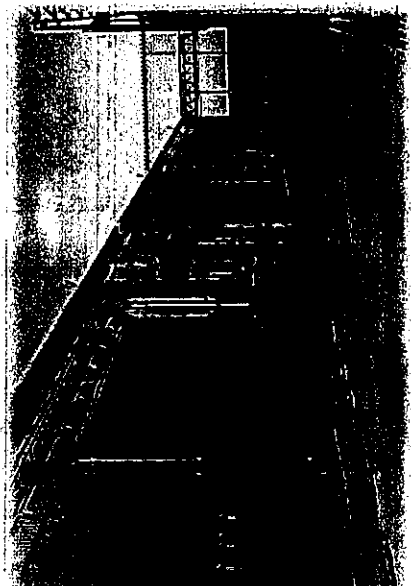
原水 ②：台車
(原水の原の部分を取り戻して四角くカットしていきます)



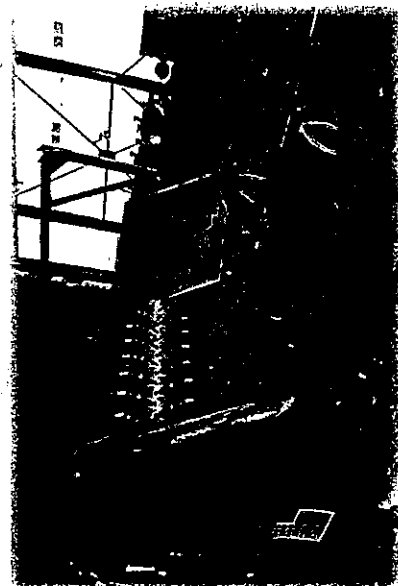
製紙用原料の製造 ①：ドリル・シュッター
(原の大きな原水をチップ②へ投入して小さく削ります)



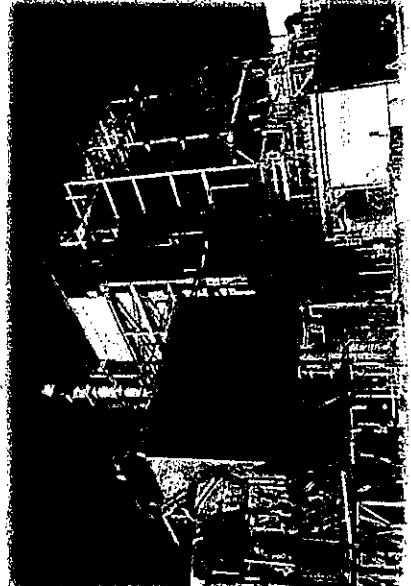
物流 ③：ホークリフト
(工場で出来た製品をトラックや船に積み込みお客さまにお届けします)



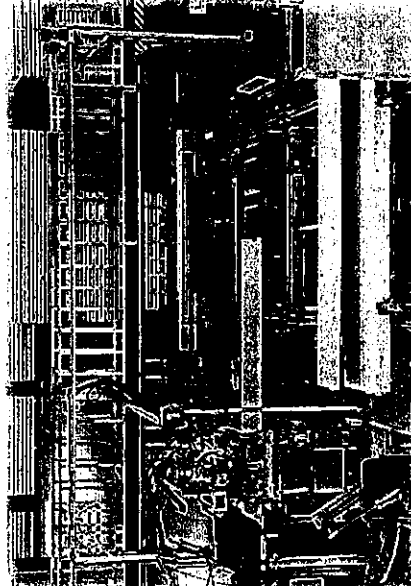
乾燥の生産：木屑乾燥機
(乾燥させた木屑を乾燥させて乾葉紙を生産します)



製紙用原料の製造 ②：ウッドハッカー
(乾燥出来ぬ原水を、そのままチップにします)

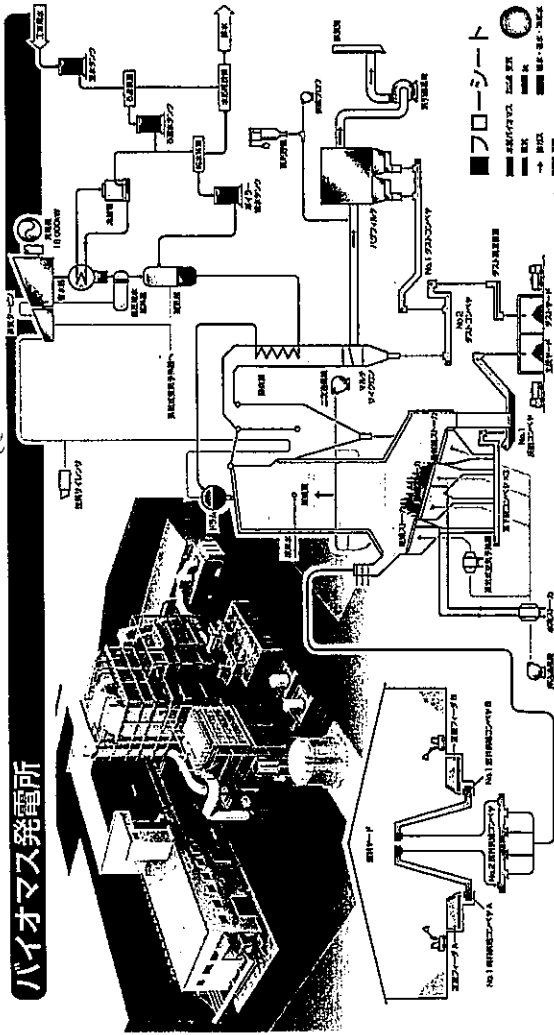


木屑バイオマス発電：ボイラー
(生産工場から出て来るオガ、屑段、チップ等を燃料にして発電を行います)


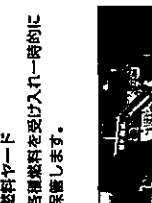
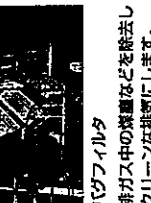
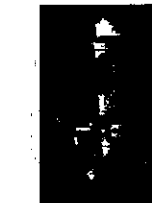
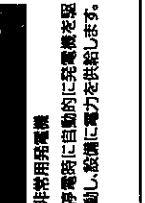

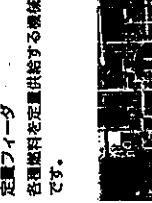
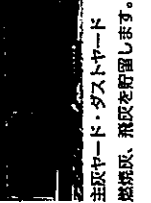

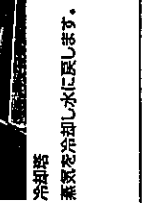

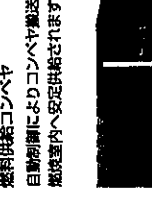
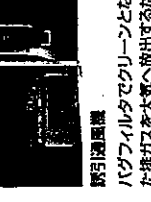

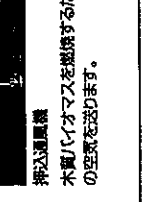


製紙の生産：接着剤塗布装置
(2.0cm~3.0cmの厚を貼り合わせて仕切を生産します)

バイオマス発電所



ボイラー概要 ボイラー型式：タコマ自動循環式ボイラー
 所定運転圧力：460℃
 発電機出力：75,000kW
 発電機出力：18,000kW
 燃料供給：パーム、生ゴミ、紙屑、木屑
 他（一部材料及び消耗品）

	燃料ヤード 各種燃料を受け入れ一時的に保管します。		燃料供給コンベヤ 自動制御によりコンベヤ駆動で燃焼室内へ安定供給されます。		水冷式蒸気ストローカ シンパルな構造で幅広い燃料種類に対応ができ、運転運転が可能で。		蒸気タービン、発電機 蒸気を利用して発電機を駆動させ電力を発生させます。		中央操作室 ボイラー及びタービン発電機その他機器はすべて中央操作室で管理されます。
	定量フィーダ 各種燃料を定量供給する機械です。		排気ファン 主灰ヤード・ダストヤード燃焼灰、飛灰を吸引します。		排気ファン 排気ファンと送ります。		排気ファン 水質バイオマス燃焼するため排気ファンと送ります。		非常用発電機 停電時に自動的に発電機を駆動し、設備に電力を供給します。
	冷却塔 蒸気を冷却し水に戻します。		排気ファン 排気ファンと送ります。		排気ファン 排気ファンと送ります。		排気ファン 排気ファンと送ります。		排気ファン 排気ファンと送ります。

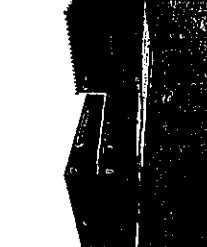
製材工場

仕上り工程
 ツインバンド製材送台車を2基設置することで、工場として、8本に原木1本を処理する事が可能です。
 原木を光学的に形状認識し、1本1本の原木からより多くの製品を取り出す事で原木の価値を高めます。工場全体の自動化と省力化を徹底的に進めた大量生産製材ラインです。製品としては、集成製材用材(ラミナ)、乾燥製材用材、杉グリーン桁角・柱角を生産します。



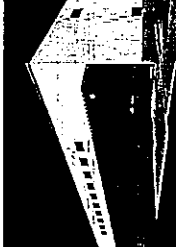
【仕様】 長さ：3m、4m
 径級：16cm～50cm (元口)
 (末口)
【能力】 製材量 (2シフト)
 1,100 m³/日
 25,000 m³/月

乾燥工程
 これまで山で放置されていた細い原木や曲がり原木などを活用する為に開発したラインです。
 これら原木から、利用可能な部位を取り出し製品化することと、未利用原木の価値を高め、山元へ還元することを旨とします。最終的に、製材不可能な原木についてはバイオマス発電用に使います。
 製品としては、幅狭ぎ集成板(ムクホード)用材や梱包材を生産します。



【仕様】
 製材材原木長さ：2m～4m
 製材径級：8cm～14cm (末口)
 製品長さ：2m、2.5m
 燃料原木径級：50cm 並
【能力】 投入量 (2シフト)
 250 t/日
 5,000 t/月

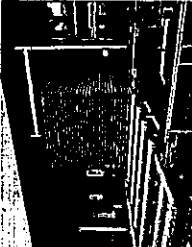
製材工程
 山では杉の大径木化が進行しており、それに対応できるシングルバンド製材送台車などを設備した製材ラインです。設備設置は2期に分けて行います。第1期工事のラインは2015年7月から稼働を開始します。
 製品としては、中径木ラインと同様ですが、造作材も含めた御客様の細かなニーズにも積極的に対応します。



【仕様】 長さ：3m、4m
 最大径級：80cm
【能力】 製材量 (2シフト)
 1期工事：6,000 m³/月
 2期工事：12,000 m³/月

乾燥・加工場

乾燥工程
 乾燥を効率良く行うために、素材と素材の間に隙間を作る様に入れるラインです。
 柱・桁材では上下の隙間だけでなく、左右にも隙間を作ります。
 ラミナのような薄い板から、柱・桁材のような厚い木材まで全てのラインで採扱が可能です。
 すべて全自動で行なう高生産性の採扱ラインです。



【仕様】 長さ：3m～5m
 長さ：12層～130層
 幅：～300mm
【能力】
 3m 柱材：7,950 m³/月
 4m ラミナ材：6,300 m³/月

乾燥工程
 高温乾燥機と中温乾燥機を備え、あらゆる製品の乾燥に対応できます。
 乾燥スケジューリングは永年培った弊社独自のノウハウにて、均一にムラの無い乾燥で割れの少ない商品を生産します。



【仕様】
 高温乾燥機 容量：50 m³/基
 台数：30基
 中温乾燥機 容量：200 m³/基
 台数：12基
【能力】
 高温乾燥機：3,000 m³/月
 中温乾燥機：12,000 m³/月

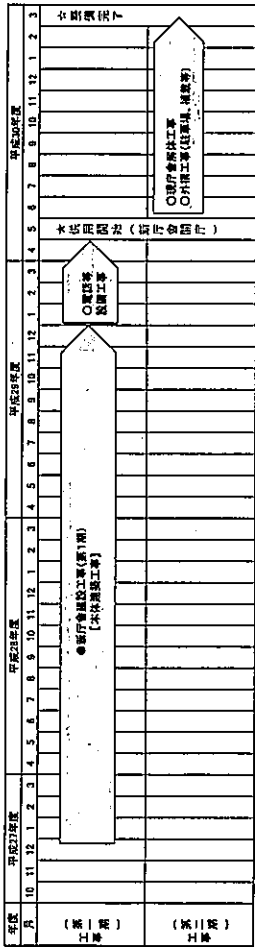
加工工程
 KD 柱、KD 桁材、AD・KD 小割材、ラミナ材、GRN プレーナ材など、すべての製品を生産する工場です。
 KD 柱材などの無垢材専用ラインと、集成材用のラミナ専用ラインに分かれています。
 それぞれの製品に求められる品質を追求する事が可能なライン構成です。



【仕様】
 柱・桁、小割り用
 ムラ取り機、モルダー (60m/分)
 打撃式クランプ車、マイロ液含水率
 ラミナ用
 MSR、モルダー (300m/分)
 マイクロ液含水率計
【能力】 柱・桁材：5,000 m³/月
 小割り材：2,800 m³/月
 ラミナ材：7,200 m³/月

■事業工程

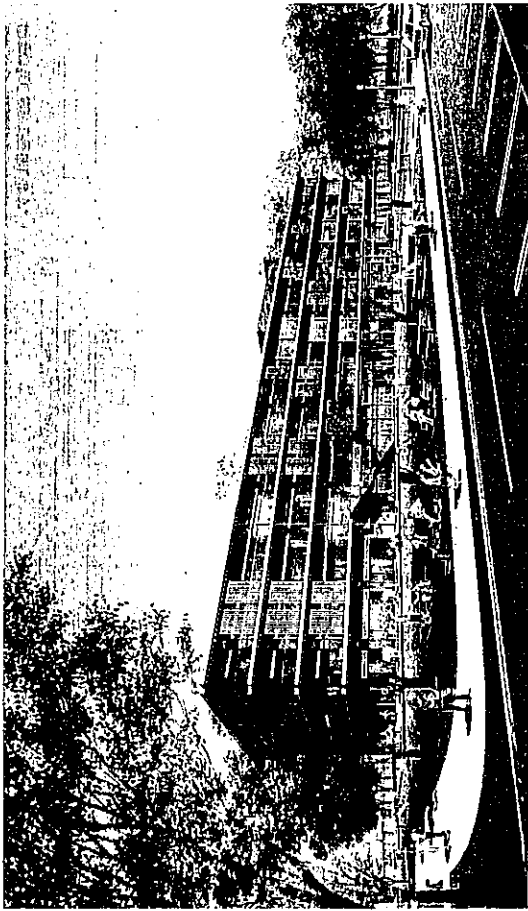
平成 28 年 1 月から平成 29 年 12 月までの 2 年間で、現庁舎東側の広場（保庁者駐車場、芝生広場）の位置に建設・施工し、その後、電話等の設備工事、引越し後、平成 30 年 5 月の移転開始を目指しています。
新庁舎の供用開始後、現庁舎の解体工事、駐車場整備などの外構工事を施工し、平成 31 年 3 月には、全ての整備が完了する予定となっております。



日向市新庁舎建設工事 事業概要

■建築概要

<p>◆概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ■建設場所 日向市町10番5号 ■建設面積 約21,986㎡ ■建築面積 約3,220㎡ ■延べ床面積(本庁舎) 約11,573㎡ ■構造地盤 地盤地盤 ■建築標準 80% ■容積率 400% ■構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造4層建 ■外装 テラス、プラスチックコンクリート タラス、プラスチックコンクリート ■高さ 22.74m ■柱間隔 約274台(35車庫専用6台) ■柱基礎 約120台 	<p>◆給排水衛生設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■給排水設備 上水：タンク10㎡ 加圧給水ポンプ 給排水：加圧給水ポンプ 加圧給水ポンプ BCP 容積：上水3日間 使用量7日間 ■排水設備 常時：下水道(雨水分岐式) 緊急時：排水貯留槽75㎡ (兼貯留)(7日間) ■衛生設備 排水処理設備 排水処理槽 ■給湯設備 給湯設備 給湯設備 ■雨水利用設備 雨水貯留槽 雨水貯留槽 雨水貯留槽 	<p>◆空調設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■空調設備 加圧給水ポンプ ヒートポンプ駆動システム外機 ヒートポンプ駆動システム外機 ■空調設備 空調設備 空調設備 空調設備 ■空調設備 空調設備 空調設備 空調設備 ■空調設備 空調設備 空調設備 空調設備 ■空調設備 空調設備 空調設備 空調設備 	<p>◆電力設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■変圧設備 変圧設備 変圧設備 変圧設備 ■非常用発電設備 非常用発電設備 非常用発電設備 非常用発電設備 ■太陽光発電設備 太陽光発電設備 太陽光発電設備 太陽光発電設備 ■動力設備 動力設備 動力設備 動力設備 ■照明設備 照明設備 照明設備 照明設備 	<p>◆通風設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■通風設備 通風設備 通風設備 通風設備 ■通風設備 通風設備 通風設備 通風設備 ■通風設備 通風設備 通風設備 通風設備 ■通風設備 通風設備 通風設備 通風設備 ■通風設備 通風設備 通風設備 通風設備
--	---	--	---	---



平成29年7月 日向市

■木材使用量(概数)

調査区分	取川流域産材		合計
	市有林	その他	
初処理区分	無処理材	耐燃性処理材	圧縮材
ス	168㎡	48㎡	22㎡
ヒ	0㎡	0㎡	73㎡
合	168㎡	48㎡	95㎡
割合(%)	51.4	14.7	29.1
			4.9
			100.0

■ 整備方針

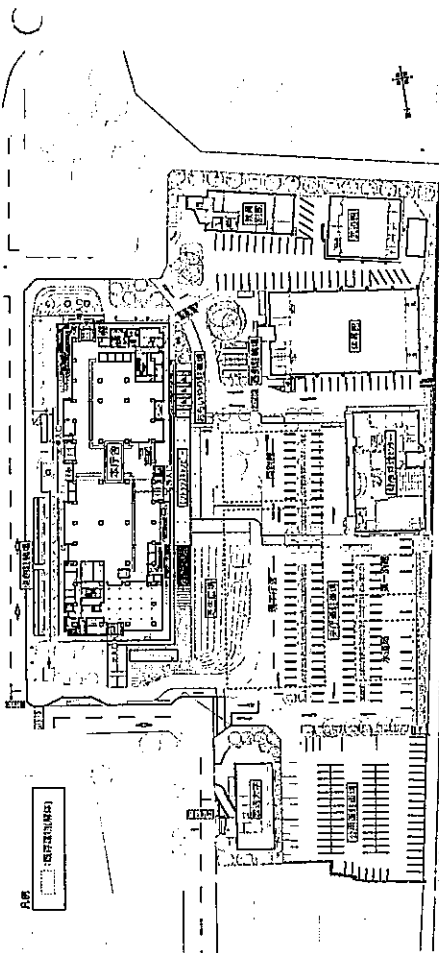
1. 災害に強い市庁舎
市庁舎は災害や有事の際にすばやく万全の態勢を果たさねばなりません。非常態勢を採用することにより、耐震性能を格段に向上させます。7日分の非常用発電燃料、7日分の上水を備蓄し非常時の要として機能します。
2. 環境に配慮した市庁舎
建物の四角く大きく取り出した「日向テラス」を設けます。強い日差しから内部空間を守るとともに、省エネルギーも貢献します。また全照明をLED化、太陽光発電、太陽熱放射の採暖等により、環境にやさしい庁舎を目指します。

3. 親しまれる市庁舎

「日向テラス」には5つのたまりを設けます。「暖たまり」、「水たまり」、「水たまり」、「ぬたまり」、「人たまり」。これは市民から提案されたまちづくりのコンセプトであり、街の建物が小さな「たまり」を無数にもつことにより、温かなまちができていくというものです。「日向テラス」はこの考え方を引き継ぐものです。市庁舎そのものが新たな「街のたまり」になることを目指します。

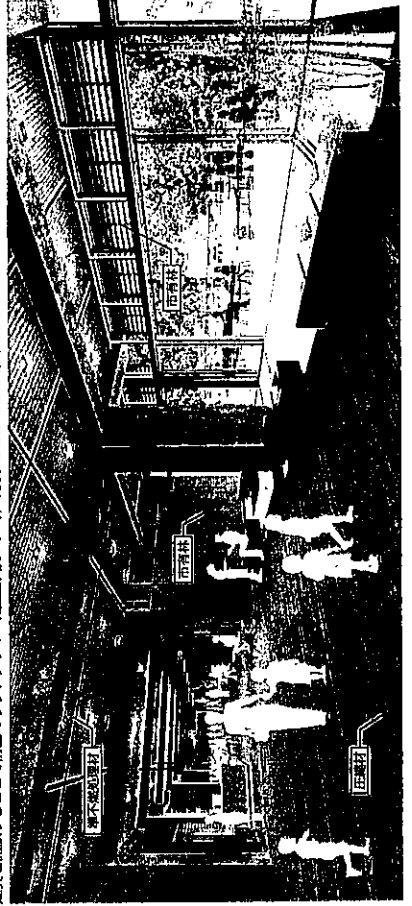
■ 敷地配置

- ・開かれた庁舎
庁舎へは東西南北どこからでも入ることができる裏のない、街に開かれた庁舎となります。
- ・アプローチ
駅地へのメインアプローチは、既存庁舎と同様に北側からとし、その付近には市民が強い自由に使える芝生広場を設けます。芝生広場は市民イベント等への活用も場となります。
- ・駐車場
街に対して圧迫感を与えぬよう、4階建ての建物を現庁舎前の広場・駐車場に建設します。現庁舎位置に採用車駐車場を設け、常設で既存同等の駐車台数を確保します。



■ 1階ホール内観イメージ

1階のホールは朝日放送専門学校への利用の他に、市民イベントへの利用等、多目的に利用可能なスペースとします。建具を開放することで前面のウッドデッキ芝生広場まで一体で使うことが出来る場所となります。



■ 「たまり」の考え方



「たまり」のコンセプト図

小さな「たまり」を無数にもつことで市庁舎自体が「街のたまり」となることを目指します。

■ フロア構成

4階：議会部門・教育委員会

議場をはじめとした議会的議場室、及び、教育委員会を配置します。議場は段差をなくし、傍聴席には、車いす席や親子席も配置します。委員会室は、講演会や多数の出席者のある会議などでの利用も想定しています。

3階：専業部門

産業経済部、建設部、上下水道局を配置します。

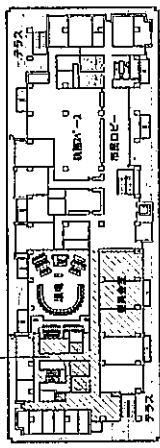
2階：管理部門

市長をはじめ管理部門を配置します。災害対策本部室も配置し、防災・災害対策の拠点となります。

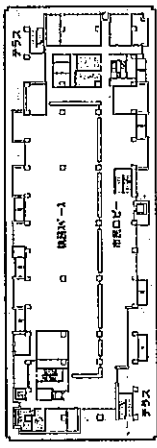
1階：窓口部門

市民利用の多い窓口機能を配置します。また、市民ワークショップで集めた多岐にわたる「市民共有スペース（各課係長の展示やミニコンサートなど）」として、ホールを設けており、期日前投票所としての活用も想定しています。

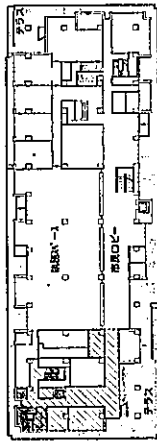
エレベーター 階間間断に利用を最適化しているエリア
階段 トイレ 0.5.10.15.20m



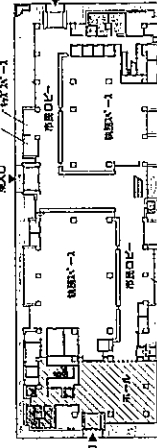
4階



3階



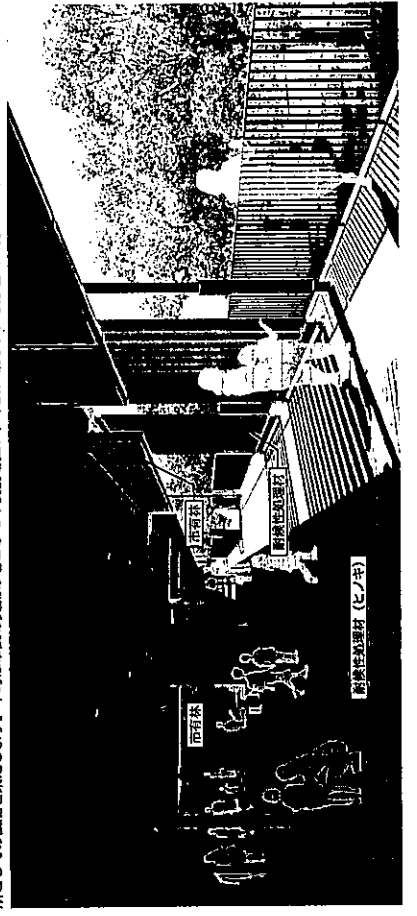
2階



1階

■ 2階テラスイメージ

各課団間に配置したテラスは、高圧側に長い庁舎の日影深へいに露出し、外部から直接上がれる階段を設けることで、津波災害時の避難場所としての機能を果たします。平時は市長の交流の場としての役割を担い、市民に親しまれる庁舎を目指します。



宮崎県日南市油津商店街視察

バディ方式の効果が商店街を活性化する取り組み導入について

日時 平成31年3月19日(月)13時30分～16時

場所 宮崎県日南市中央通り1-1-1

対応 日南市議会事務局主任主事 中山 綾香

説明 日南市商工マーケティング課 川越 大輔

日南市商工マーケティング課 井野 みずき

<宮崎県日南市油津商店街の概要>

日南市油津商店街は、1960年代に80店舗を数えた商店街が一時期30店を切るまでの状況になった。この商店街が今大きく変わりつつある。その状況と裏側に推進した取り組み(バディ方式)を学び、再生請負人から話を聞いた。

<説明>

1 導入の目的

地方創生が叫ばれているが、その鍵を握るのが「商店街再生」だ。地域の中心街が寂れていながら、全体が栄えることはないため。

2 導入までの経緯

H25 商店街に20店舗を誘致すべく株式会社 油津応援団を設立。公民連携を基本に 崎田恭平市長(39才)は3人の民間人を登用し、活性化を目指した。

3 導入の概要

油津応援団は、45名以上の出資を募り、資本金1800万円で起業した。始めに、商店街の現状把握と地域住民との信頼関係作りに取り組んだ。

4 運用方法

まちの応援団作り取り組み、市内の中高生や在京の日南出身者に声をかけた。更に 市役所・商工会議所・日南まちづくり会社など他にない公民連携をめざした。

H26 2年目にして店舗誘致2件。しかし若者が関わる土曜夜市を開催。14の団体や企業が参加しみんなで作る夜市が復活。

H27 商売を続けてきた店主らの気持ちに変化した。

商店街について 大学生が素直な気持ちで卒論を書いたが、その厳しい指摘に商店街の人々に火がついた。また 田舎でも都会と同等の仕事ができる

IT関連企業を誘致。現在では 10 数社の IT 関連企業が進出。

行政を通さず 油津応援団が進出企業に対し、即 対応するため 企業側も進出しやすい環境が出来上がっている。

H28 新規誘致企業は 目標の 20 社を上回り、29 社となっている。

H29 日南市の課題解決を提案するビジネスコンテストに参加したことをきっかけに、商店街にゲストハウスを開業。広島カープがキャンプするため、クラウドファンディングなどで資金を集め 29 年 2 月にオープン。

IT 企業や商店が増えたことで、子育て支援センターや小規模保育施設を開所。様々な良い影響が出てきた。特に商店街の通行量が 3 倍に増加。

<所見>

現在の日本は、少子高齢化の波を受け、どこの町の商店街も寂れてきているのが現状であります。しかし何の政策も行わなければ さらに進んでしまう。

若い市長の強いリーダーシップと行動力により、衰退した商店街が、若者がチャレンジする新しいまちに生まれ変わった。地元油津港があり、クルーズ船が寄港することを生かし、インバウンドも活用している。また

広島カープのキャンプ地なので 油津駅を広島カープ色の真っ赤にし 全国のカープ愛を集結させる取り組みをしている。女子高生のアイデアで屋根のない油津商店街をカラフルな傘で彩りたいという案が採用された。

通常であれば 行政からの助成を望むものだが、クラウドファンディングで 100 万円を超える支援を集め、実行した。本市においても このような

若者と地域を巻き込んだ本気の政策を考えていかなければ、商店街の活性化やまちの再生は難しいのではないかと思われる。地域の特性やどのような資源を生かしていけばいいか幅広い年齢層から現状把握からすべきであると共に

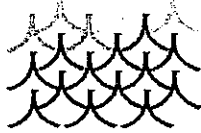
市長のリーダーシップが求められていると思う。財政が厳しければ その対策をすべきであるし、様々な政策を部下や市民が自由に言える環境づくりが大切。小池東京都知事がせっかく PR してくれた長沼や 無形文化財になった米川の水かぶり事業など 市全体の集客を図る政策を考えるべきである。

今後 本市の PR をさらに進め 誘致企業の雇用増や移住定住の促進。

若年層からシニアまで 多くの知恵と市民参加をすすめ 持続可能な商店街を形成。ひいては 本市全体の発展につなげていかななくてはならない。

油津商店街の動きとIT企業進出への取組

創客創人
SOKYAKU-SOJIN



日南市

商店街(しょうてんがい)

商店が集まっている地区や、商店が
建ち並んでいる通りをいう。



油津商店街は再生したのか？

創客創人

民間人の登用

創客創人



仕事人はシャッター商店街を「再生」した訳ではない

宮崎県日南市の空家(シャッター)商店街。4年で29店舗が閉店



小売り業が人口減少、社会資本の劣化で苦境に陥り、各地の商店街が閉鎖を余儀なくされている。空き店舗の増加が顕著な油津商店街も例外ではなく、市内中心部からシャッター通り化の勢が止まらず、周辺地域のコミュニティも弱体化している。一方でコンビニエンスストアの進出が加速する中で、商店街にどのような役割を期待されているのか、関係者から話を聞いた。



日南市長 崎田恭平(39)

民間人の登用



テナントミックス
サポートマネージャー
木藤 亮太
市内の消費循環の促進のために魅力ある商店街の復活を目指す。 内需の循環



マーケティング専門官
田鹿 倫基
市外からの「外貨」を獲得し、市内雇用の拡大を目指す。 外需の獲得



まちなみ再生
コーディネーター
徳永 煌季
駅前地区の空きや活用とまちなみ再生を目指す。 まちなみ再生

油津商店街

創客創人

民間人の登用

創客創人

昭和40年頃の油津商店街

数十年後...



かつて宮崎県南地区最大の商店街。空き店舗や空き地の増加、歩行者通行量や小売販売額の減少などの衰退が見られ、隣市などへの買い物客の流出による厳しい環境。市民の意識から「商店街」という存在が薄れてしまった。



333人の公募の中から選ばれた
テナントミックスサポートマネージャー
木藤 亮太

内需の循環がミッション。日南市内の消費循環の促進と、そのための魅力ある商店街の復活を目指す。

目標達成指標

- 空き店舗活用の検討、業種バランスなどの配置計画の策定及び事業者の誘致、並びに適正な配置
(目標：4カ年で20店舗誘致)
- タウンマネジメント体制の整備
- 賑わい創出に係るソフト事業等のサポート及び協働体制の構築
- その他中心市街地活性化に資する新規事業の提案及び実施
- 商店街等の既存店舗の経営改革等に係るリニューアル指導・支援及び商店主、地権者との信頼関係の構築

テナントミックスサポートマネージャーの取組

創客創人

テナントミックスサポートマネージャーの取組

創客創人

1年目

現状把握・信頼関係づくり

- ・応援団キトチケットの結成
- ・商店街とのコミュニケーション
- ・(株)油津応援団の設立

1年目

- 毎週 朝ミーティング
- 毎月 全体ミーティング
- 適宜 コミュニケーション





まちの
応援団
づくり

市内の中高生

在京の日南出身者

1年目 株式会社 油津応援団

的を絞り、迅速に動き、
事業をしかけていく
「まちづくりの会社」



45名以上の出資
資本金1,800万円

ユレ-市に出資

Board Members



代表取締役
村岡 浩司
Keiji MURAOKA



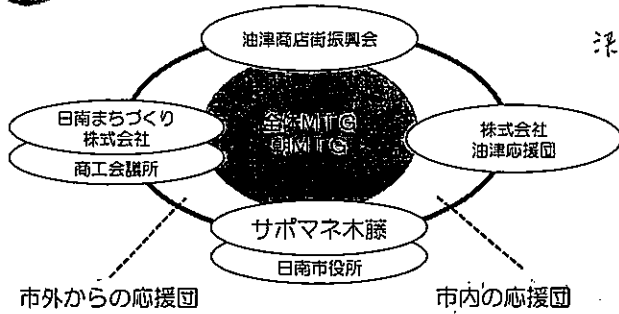
取締役
黒田 泰裕
Yasuhiro KURODA



取締役
木藤 亮太
Ryoma EIJO

1年目 他にはない公民連携を目指す

パブリック株式会社
↓
深淵・即決で1149万



市外からの応援団

市内の応援団

1年目

市民の声

・高圧送電線
・空き家倒壊
(改修助成)
・家賃補助
・人材助成
・卸卸前に若者の
旅費補助

1年目 平成25年度

店舗誘致は0件、
20店舗なんて無理!

2年目

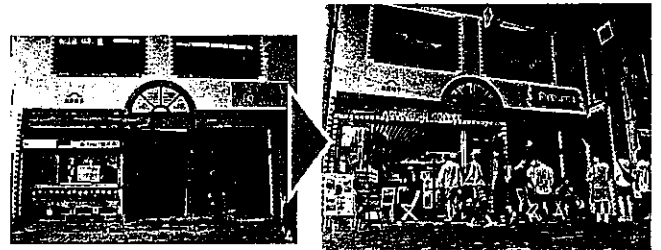
動きはじめる
地元の人が商店街を語り始める

- ・ ABURATSU COFFEEオープン
- ・ 二代目湯浅豆腐店オープン
- ・ 若者が関わる土曜夜市
- ・ 大学や高校との連携

2年目

平成26年4月 商店街1店舗目
ABURATSU COFFEEオープン

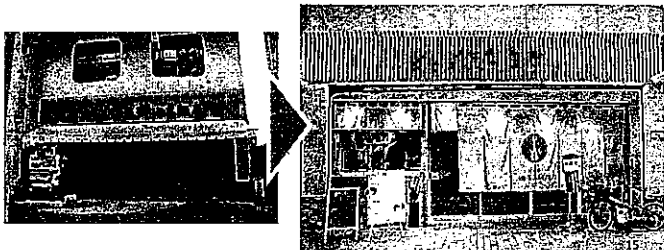
- ・ 市民の共感を生む店づくり
- ・ 思い出の喫茶店をリニューアル



2年目

商店街2店舗目
二代目湯浅豆腐店オープン

- ・ 油津商店街にあった店舗を移転
- ・ 販売だけでなく豆腐を使ったランチを提供



2年目

14の団体や企業が参加
みんなでつくる「土曜夜市」の復活



2年目

市民の声

2年目 平成26年度

店舗誘致は2件、
20店舗はやっぱり無理！

17

3年目

- ①商売を続けてきた
商店主らの気持ちの変化
- ②新たな来街目的が生まれた
- ③IT関連企業の進出

19

修理屋さんのいるまち油津商店街→リブランディング

3年目



21

3年目

熱い思いを持つ
若者たちが立ち上がる

株式会社油津応援団

核となる3人のスタッフは、
全て地元出身の30代

若者の努力・成長



商店街の活気



3年目

まちが変わった!!
店舗誘致が進む

- ・油津なおしえるじえ
- ・多世代交流モールオープン
- ・出店者との交渉

18

3年目

商店街についての
2人の大学生の卒論



大学生からの厳しい指摘



商店街の人々に
火が着いた

20

3年目

多世代交流モール 油津Yotten

スーパーマーケット跡を改修した交流スペースの誕生
多様な市民活動による商店街への新しい来街目的が生まれる



大きな薄暗い空き店舗



デザイン性の高い空間

3年目

熱い思いを持つ
若者たちが立ち上がる

ABURATSU COFFEE



2年間の成長によって店の魅力が着実にUP

24



日南市マーケティング専門官 田鹿 倫基 (33)
 外需の循環がミッション
 日南市内の地域資源を活かした外資の獲得と雇用の創出。
 マーケティングの側面から商店街を支援。

日南市のマーケティング戦略

- 1. 2年目 (H25, 26) 日南市のイメージ戦略の実行
 - ・企業とコラボしやすい日南市。
 - ・日南市とコラボすることが「カッコいい」。
- 2. 3年目 (H26, 27) 日南市と企業のコラボを通してWin-Winの関係を築く
 インキュベーション施設、コワーキングスペースなどを活用した事業誘致。
- 3. 4年目 (H27, 28) 企業とのいい関係を仕組み化する
 企業合宿や起業家の育成が日南発のビジネスやサテライトオフィスの設立に繋がり雇用の創出！

コラボレーション事例 ①



Collaboration with 株式会社サーチフィールド

飼肥杉の工芸品を世界へ

地元の偉人を後世へ伝える

27

「日本一組みやすい自治体」への挑戦



概要

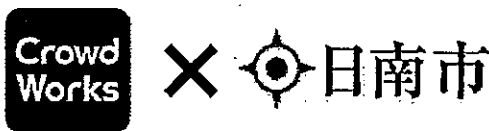
・行政の予算 (=税金) を使うのではなく、クラウドファンディングを使って世界中から資金を集めた。

・日南市の飼肥杉を使った小物を世界最大級のギフトショーに出店する

募集期間: 71日間
 支援者: 241人
 日南市内20%
 宮崎県内20%
 東京 40%
 その他 20%
 支援企業: 2社(上記に含む)
 支援総額: 325万円

28

コラボレーション事例 ②

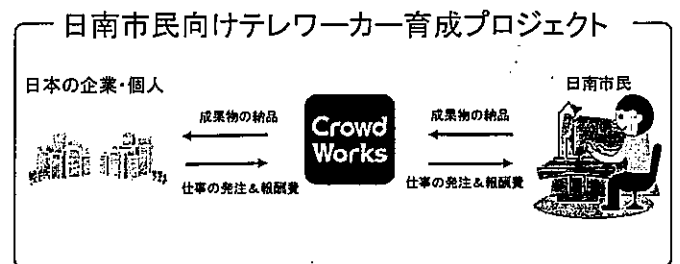


Collaboration with 株式会社クラウドワークス

20万円ワーカー育成プロジェクト

29

クラウドワークスとのテレワーカー育成企画



市内の眠る労働力を掘り起こし、収入を向上させることで地元に住み続けられるまちづくり。

30

日南市の有効求人倍率

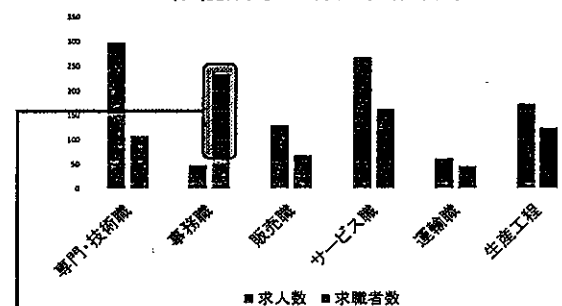
1.16

(H30/3月末現在)

100人の求職者に対して
 116人分の求人がある

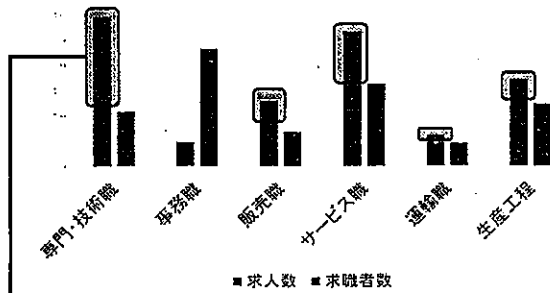
出典: 日南経済発展推進委員会 (H17-ワーカースタイル)

職種別求人数・求職者数



流出の可能性があるので仕事を作る

職種別求人数・求職者数



生産性を高め待遇を改善する

13社のIT企業が日南に進出し、
地元の若者を中心に100名以上を雇用

- DIGITAL GATE
- PORT INC.
- TNETPRO
- Sackle
- S-POOL
- OC 333 エルジュ
- DandoLi Works
- SUCCEED サリヨード株式会社
- 株式会社アボカド
- PlusD
- LITTLE CLOUD
- Omnibus
- LMTOKYO

このうち、11社が油津商店街エリアに
オフィスを開設。

3年目

市民の声

3年目 平成27年度

店舗誘致は15件、
IT企業が3社、
20店舗誘致できるのでは？



~~流行りのIT企業を誘致~~

若年層の吸収力が高い
事務職を誘致

3年目

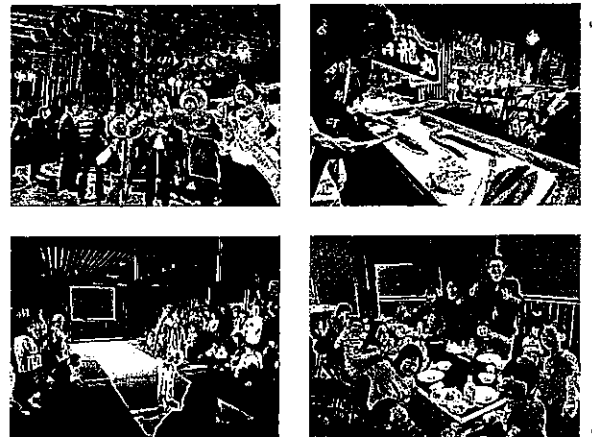
東京からIT企業の進出
若者がチャレンジするまち
組みやすい自治体という
ブランディングが企業を呼び込んだ

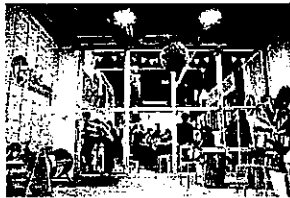


活用が難しいとされていたブティック跡を
リノベートして南九州一美しいオフィスが誕生
2016年度 第29回日経ニューオフィス賞
九州・沖縄ニューオフィス推進賞

4年目

持続していくくみ！
体制を整える！





愛知県出身 名古屋大学
奥田 慎平さん

fan! ABURATSU
~Sports Bar & HOSTEL

日南市の課題解決を提案するビジネスコンテストに参加したことをきっかけに、商店街にゲストハウスを開業。広島カープファンをはじめ、日南ファンが集える場所を提供したいと、クラウドファンディングなどで資金を築き平成29年2月にゲストハウスをオープンさせた。
現在、大学を休学中。

子育て支援センター ことこと

居住区のほか、IT企業、地元メディアのオフィスなどがテナントなどが入居する平成29年4月にオープンした複合機能ビル「fittenほりかわ」内に子育て支援センター「ことこと」が開所。



小規模保育施設
油津オアシスこども園

IT企業が増えたこと、子育て支援施設がオープンしたことで、商店街に保育施設が生まれた。2階部分はカフェになっており、子育て世代のお客が多く利用する。

油津商店街における誘致店舗数

商店街の通行量

4年目



新規店舗誘致目標

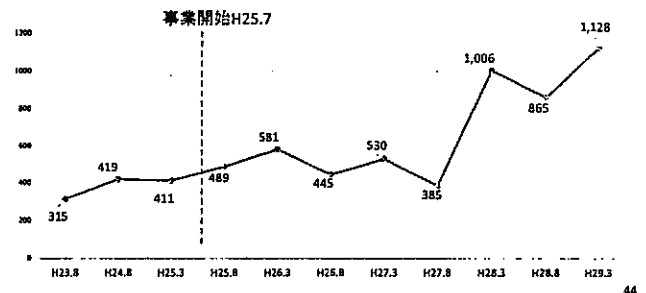
20店舗

新規店舗誘致実績

29店舗

H29.3末現在

4年目 歩行者通行量 2.5~3倍



テナントミックスサポートマネージャーの取組

テナントミックスサポートマネージャーの取組

4年目

市民の声

4年目 平成28年度

店舗誘致は29件！
IT企業も10社！
日南でもできるんだ！

強いリーダーシップと
行動力により、
衰退した商店街が
若者がチャレンジする
新しいまちに
生まれ変わった。

安倍総理スピーチ(要旨)

クルーズ船を活かす

H29.12.15 共同通信加盟社編成局長会議

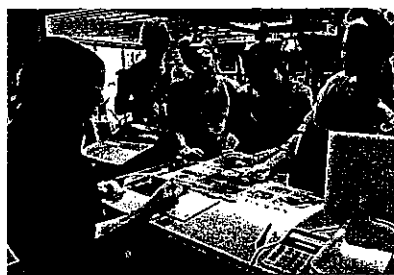
油津商店街に行けば、やりたいことが実現する。

そういう何か、わくわくするような空気感が、

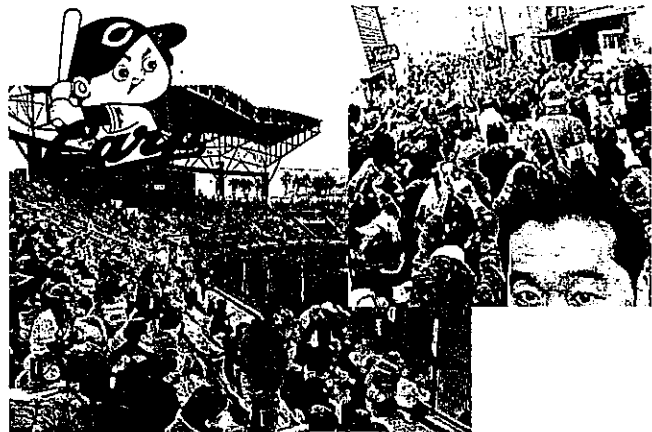
今、商店街再生の大きな原動力になっている。

こうしたわくわく感こそが、地方創生の鍵である

と考えている。



油津港



油津駅を日本一のカーブ駅に！真っ赤な駅舎に全国のカーブ愛を集結させよう！

● 高崎 ● お祭り・ローカルイベント

JR日南線油津駅の駅舎を日本一のカーブ駅に！

実現している金額
2,200,000円
(目標 2,000,000円)

達成率 252人 23日



女子高生の挑戦。
屋根のない油津商店街アーケードを
アンブレラスカフ ラフな傘で彩りたい！
ライトアップのために
100万円を目標します！

FAAVO

クラウドファンディングで
100万円を超える
支援を集めた。

中学時代・・・
部活動を辞めて夢中になれるものも無く毎日を憂鬱に過ごしていた。
そんな私に新しい居場所を作ってくれ、成長させてくれた油津商店街に
恩返しをしたい！

周りの大人たちがサポートし、
高校生の想いをカタチにした。



若者のチャレンジを応援する大人がいる。

CAMPFIRE AWARD2018において、
クラウドファンディング全5,800のプロジェクトの中から



油津商店街は

再生したのか？

油津商店街の新たな機能を中心に



多世代交流施設

ゲストハウス

子育て支援施設

IT企業オフィス

多様なコミュニティが生まれた。

油津商店街

新規出店者
起業家

日南市公認
アイドル

子育て世代

IT企業
の若者

スポーツ
ファン

子ども
学生

市街地全体の集客増を図る

